

国上山植生調査の成果

令和4年度燕中等教育学校サイエンス部



【活動について】

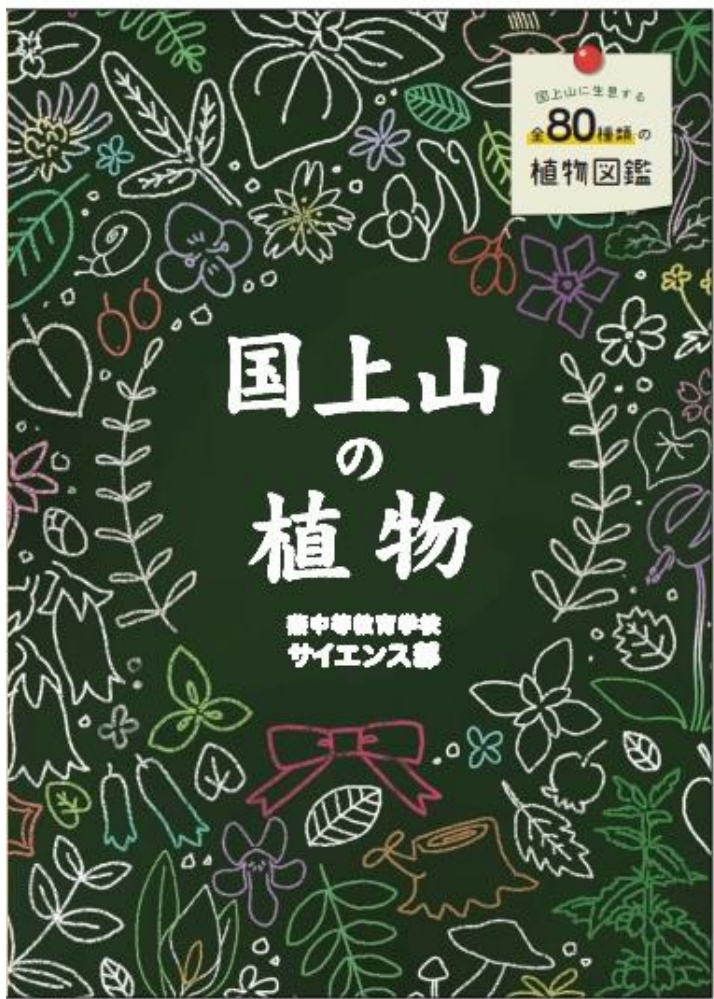
昨年度、新潟県立新潟南高校の課題研究で国上山の植生調査が行われた。この調査を燕中等教育学校のサイエンス部が引き継いで行っていくことにした。部活動で国上山に行き、植物について調査した。それを元に国上山の植物についてのパンフレットを製作した。



【パンフレットについて】

国上山に生息する**植物80種類**の写真と花の咲く時期、特徴のほかにも、県の天然記念物に指定されているブナ林、国上山にゆかりのある良寛さんについての説明等を掲載した。

自分たちで表紙を描いたり、レイアウト案を練った。フィールドワークにて見つけた植物を部員で手分けし文章を作成した。図鑑やインターネットを活用し**80種類**分全て説明文を考えた。



[4校ウラ] 燕中等教育学校 サイエンス部植物冊子



表紙やアイコンは部員がデザインしました！



全部で80種類！

花の色別で掲載！

子供は写真で調べよう！

大人が読んでも面白い！



ピンク色の花



オクチョウジザクラ
バラ科 **春**
小型で可愛らしい花をつける。がく片に対し両側に花びらが開くので「丁字」。



ツルカノソウ
スイカズラ科 **春**
山地の湿った所に生える。長いつるを四方に出して繁殖する。



コマツナギ
マメ科 **秋**
葉は細いが馬をつなげるほど丈夫なことが由来。



ミソソバ
タデ科 **秋**
水辺に生える。由来は見た目がソバの花に似ていたため。

緑色の花



ココサギ
ミカン科 **春**
小葉木と書くが、さわやかな香りがする。葉の表面に光沢がある。



ハナイカダ
ハナイカダ科 **春**
葉の上に花が咲く。由来は花が集った葉をいかに例えたもの。



ツクパネソウ
シュロソク科 **春**
4枚の葉の中心に美しい葉実が付く様子が羽根の羽に似ている。



エンレイソウ
シュロソク科 **春**
3枚の葉を輪生し、中心に小さな花をつける。

黄色の花



ホクリクネコノメ
ユキノシタ科 **春**
花びらはなく、上部の萼は鮮やかな黄色で目立つ。



メナモミ
キク科 **秋**
葉毛が密に生え、粘液を出すので、動物にくっつく。



キツリフネ・ツリフネソウ
ツリフネソク科 **夏**
"野船"のような形の花を吊り下げる。



キンミズヒキ
バラ科 **秋**
長い花軸に、5枚の花びらの小さな花がたくざんつく。



ケキビシ
キヤブ科 **春**
繖状の花が繖状になり、垂れ下がる。葉の裏にもがある。



キバナアキギリ
シソ科 **秋**
白緑のサルビア。繖が花に葉を突っ込むと、花粉が筒中につくしくみになっている。



ウゴツクパネウツギ
スイカズラ科 **春**
板先にラッパ状の花を普通2個つける。



ウmanoアシガタ
キンポウ科 **春**
5枚の花びらで上を向いて咲く。堂々としたような光沢がある。

コラム③ 国上寺について

国上寺は709年に、最後の宮内大臣の託宣によって建立された最後の古刹です。12年に一度千女が子年の年に、ご本尊のご開帳が行われます。今までに良寛、源義経、弁慶、源朝臣と縁があったそうです。現在では、建物の裏かれた絵がイケメンさぞと話題になっています。



コラム④ 良寛さんについて

1758年生まれ。出雲国出身の僧侶です。詩人、書家であり、生涯残した歌は、1400首、監撰は600首あると言われています。良寛さんは、国上山の五合庵に約19年間住んだと言われています。良寛さんは、子どもと遊ぶのが好きで、まわりつき、かくれんぼ、おはじきなどで遊んでいました。良寛さんが70歳の時、30歳の貞心尼と出会い、74歳で亡くなるまで和歌を詠みあい心温まる交流が続きました。



紫色の花



カタクリ
ユリ科 **春**
花が薄紫色。下向きに咲く。昔薬材が片栗粉の原料だった。



フデリンドウ
リンドウ科 **春**
花が葉の穂先に咲ることによる。葉は、卵形で厚みがある。



スミレサイシン
スミレ科 **春**
スミレの中で花も葉も大型。地下茎がワサビのように太く横にはう。



タチツボスミレ
スミレ科 **春**
托葉には、のこぎりの刃のように深い切れ込みがある。



スミレ
スミレ科 **春**
名は花の形が「雷入れ」に似ることから。葉柄に黄がある。



テリハタチツボスミレ
スミレ科 **春**
葉の表面に光沢があることが名の由来。山頂付近に生える。



オクトリカブ
キンポウ科 **春**
世界で二番目に毒の強いトリカブト。全草が毒。



ナガハシスミレ
スミレ科 **春**
葉が長く上をつんと向いている。花びらシャッパのように咲く。

コラム① 国上山について

熊鷹のシンボルとも呼ばれるこの山は、新潟県の海岸沿いに連なる勢多山脈の中で最も南に位置する標高313mの低山で、江戸時代後期に良寛さんが住んでいたことで有名な山です。多くの在来の植物が分布しており、2020年に新潟県高校が行った調査では550種が確認されました。




ジャノヒゲ
キジカクシ科 **春**
秋に赤く鮮やかなコバエイトブルー色になる。



ムラサキシキブ
シソ科 **秋**
紫色をしていて、葉の上に乗っているように見える。



マムシグサ
サイトモ科 **秋**
赤くて、小さなトウモロコシのような実をつける。



クサギ
クサギ科 **秋**
葉は青黒く、光沢があり、下に白い繖毛のげくがある。葉をむくとくさい。



ヒメアオキ
ガリア科 **春**
太平洋側に生育するアオキの日本海側多量地帯型。



ヤブコウジ
サクラソウ科 **冬**
葉縁で繖状の小根木。葉の下に隠れるように白い実をつける。



ミヤマガズミ
レンブツク科 **秋**
葉の先が葉状に伸びて鋭く尖る。ガズミより高地で生える。



フイチゴ
バラ科 **秋**
つる植物のようにほふくする小根木。



ツルリンドウ
リンドウ科 **秋**
つる植物。他の物に巻き付いたり、苔を這う。



ガズミ
レンブツク科 **秋**
クワン酸が豊富で、酸味が強く、レモン果汁に似ている。



ツルアリドウシ
アカネ科 **秋**
常緑でつる性。地面をはうように生える。



ヒヨドリジョウゴ
ナス科 **秋**
つる性の植物。全体に毛が多く、花型はモリ選って咲く。



ナワシロイチゴ
バラ科 **夏**
葉は立ち上るが葉の裏におお



ヤブベイチゴ
バラ科 **春**
果実は赤くつやがある。食べても



ナツグミ
ゴゼ科 **夏**
葉裏や葉の表面にはうろこ状の毛が

【活動の成果】

- ・パンフレットを1000部製作して、**燕市内の小・中学校や道の駅**に配布する予定。
 - 小・中学生の学習に役立ててもらおう。
 - 様々な人に国上山に興味をもってもらおう。
- ・多様な視点から私たちの住む燕市について学びを深めることができた。
- ・調査をもとに、文化祭で「国上山の植物」に関するポスターを作って文化祭で展示した。

【活動の感想】

大変なこともあったが、部員が協力し合い今回のプロジェクトを素晴らしいものにできたと思う。
この経験をもとに、また様々な活動を行えるよう努力していきたい。

【サイエンス部の活動】

現在、新型コロナウイルスの影響で今まで行っていた活動ができなくなっている。

(三条, 弥彦での科学の祭典に出店。朱鷺メッセで行われる高校生のためのシンポジウムなどに参加する等)

【今後の活動】

→国上山**フィールドワーク**の継続

燕市の小中学校へ**出前授業**

水族館や植物園の見学などを検討中

※また、小中学生の全員にパンフレットを届けるだけの部数を印刷できていない。来年度以降、予算がつけば**増刷をしたい**と考えている。